

## 今後の治水対策のあり方について 中間とりまとめ（案）に関する意見

①氏名 (フリガナ)	河登一郎 (カワトイチロウ)		
②住所	(都道府県名) (市区町村以下) 埼玉県		
③電話番号	04-2942-9220	メールアドレス	
④職業		⑤年齢	
		⑥性別	
意見該当箇所	⑦御意見		
頁	行	(200字を超える場合は200字以内の要旨も記載)	
		<p>0. 最初に：意見発表様式について以下要望します：</p> <p>(1) 本パブコメに関しては、研究者や専門家もさることながらダム問題に深い関心を寄せる一般国民で意見をお持ちの方も多いためです。本様式は事務局が多様な意見を整理しやすい様式になっていますが、一般国民が意見を書きやすい様式で募集して頂きたい。</p> <p>(2) 一般国民に、膨大な「中間とりまとめ（案）」の全文を詳細に何回も読みこなすことを期待することは現実的ではありません。従って、自分の意見が「中間とりまとめ（案）」の何ページと何ページの何行目に関連するかを正確に指摘することは困難です。</p> <p>(3) 私は自分の主張を項目ごとのタイトルか、「要旨」の形で分かりやすく表示しますので、後は内容の隅々にまで精通しておられる事務局の方で適宜整理して下さい。お手数かけますがよろしくお願いします。</p> <p>1. <u>(要旨)「ダムの代替案」として新しい案がいくつか言及されており、そのこと自体は良いことですが、それらが実質的に効果を発揮できるかが問題です。形式上は選択肢が増えても事実上無意味に終わる可能性が高いこと</u>に関しては後記(2.)参照。</p> <p>2. <u>(要旨)本「取りまとめ」の最大の問題点は、「事業主体」が「検討主体」として比較検討・検証を担当すること</u>です。</p> <p>(意見補足)</p> <p>(1) これでは検証の実質が伴わない可能性が高いことは説明するまでもありません。</p> <p>(2) 事業主体が代替案との比較検討をすれば、<u>事業主体にとっての利益を極大化する方法を選択することが「合理的な選択」</u>になってしまいます。この方法では、ダムと比較して、環境負荷・コスト・B/Cすべての面でダムより(国民にとって)劣位な代替案でも、事業主体にとって有利な代替案なら選ばれてしまう可能性が高いと考えます。そのことを「正当化する数字を作って」為政者をその気にさせることは、事業主体にとってさして難しいことではないでしょう。</p> <p>(3) しかし、これは国益=大多数の国民/納税者にとって望ましくない仕組みです。<u>国益にとって最善の仕組みは、客観的・科学的なチェック機能を果たせる「公正な第三者機関」と公募市民を、事業主体から独立した政府機関が選定し、基礎データと討議の過程・内容をすべて公開した上で、検証を行うことが必要条件</u>です。</p> <p>(4) 「取りまとめ」でも、情報公開、公聴会、パブコメ、審議会、委員会などいろいろな形式は提案されていますが従来の形式の延長では意味がないことを国民は熟知しています。国益を実現するためには上記(3)の仕組みが不可欠です。</p>	

3. ダムの評価には、客観的な視点からすべてのマイナス面も網羅すべきです。即ち、利水・治水での効果が限定的であるだけでなく、環境破壊、災害誘発、堆砂に伴う長期的な弊害（上流での河床上昇に伴う氾濫、治水・利水効果の更なる減衰、河口線の後退など）など間接的な弊害とコストも公平に算入すべきです。

4. 補助ダムについては、受益者たる都道府県の負担を大幅に増やし、国庫負担はせめて1/4程度に低下させるべきです。国の財政逼迫及び地方分権への流れは避けられません。受益者負担を増やすことで、大型投資にかかる自治体の自己責任を強調すべきです。

5. 利水及び治水政策はゼロベースで抜本的に見直すべきです：この点に関しては恐らく多数の方が意見を出されるでしょうから、私は省略します。

6. 検証すべきダムの対象を増やすべきです：

明らかに基本的な問題を抱え、説得力ある材料も十分に揃っている多くのダムが検証対象から外されたことは、本検証の本来の目的に違反しています。

7. 最後に：

(1) 国交相は「八ッ場ダム」は中止すると明言されています。一方で「予断を持たずに検証する」と矛盾する発言もしておられますが、いずれにせよダムを中止する選択肢はあるわけです。

(2) そのような前提の下で行政当局が行うべきことは以下の通りです。

①まず建設を原則として凍結する。安全上必要な工事や、緊急を要する補償など例外的な支出は「ポジティブリスト」で支払いは続行すべきでしょうが、それ以外の全工事、特にダムを中止すれば不要になる工事は即時凍結すべきです。

②次に、ダムを中止した場合も必要な工事；縮小（或いは修正或いは拡充）して続行すべき工事；及び中止すべき工事への事業仕分けを早急に実行する。

③そうすれば、八ッ場ダムを含む個別事業の検証が終わった段階ですぐ次の段階に進むことができます。

以上